

ようこそ先輩 第1回

平成24年10月29日（月）

昭和21年3月卒業生

1 小学校時代の町の様子をお話ください。

今校庭からは郵便局が見えます。当時からある建物はもうこれ一つだと思います。東京タワーもまだなかったです。70年前小学3年生だった時は、今の六本木交差点のあたりは、コーヒーショップもバーもなく、和菓子を売っているお店が1軒だけありました。

2 どんなことをして遊びましたか？

学校は最初麻布尋常小学校で、それから麻布国民学校と名前が変わりました。小学生の時代は戦争中で「駆逐水雷」という遊びをしていたと思います。一人隊長がいて、潜水艦・駆逐艦と役割があり、それぞれの帽子の鰐の向きを変えてわかるようにしました。隊長の帽子を奪った方が勝ちというゲームです。

疎開先へは小学校5年生の夏休みに行きました。着いた日は大雨でしたが、歓迎式を開いて迎えてくれたことを覚えています。山の上まで二往復ぐらいしながら米などの食糧を運びました。

3 学校の授業や先生の思い出をお話ください。



先生は教科書も使いましたが、教科書から離れた「物の考え方」を教えてくださいました。疎開先では1回習字の授業があり、級を決めてみんなで努力しました。当時の教えが後々役に立ったと思います。



4 学校での遠足はどのような所に行きましたか？
宿泊行事はありましたか？

1年生では溜池山王にある日枝神社まで歩いて行きました。上野動物園にも行った記憶があります。疎開していた栃木では6年生の修学旅行で日光に一泊で行きました。中禅寺湖や華嚴の滝を見学しました。日光へは電車を乗り継いで行きました。

5 今の子どもたちに期待することをお話ください。

日本は食べ物が食べられない、物が無い時代からみんなで努力して今の立派な日本をつくってきました。もうやることは無いんじゃないかと思うかもしれないけれど、まだまだたくさんやることはあります。成長する可能性がたくさんあると思います。いっぱい勉強して運動して、オリンピックに出る選手になってもいい。科学者になってもいい。世界をリードするようなものをたくさんつくってほしいと思います。

